

岡谷市活性化事業プロジェクト「諏訪湖よさこい」事業

取組に至る背景・事業の目的

- 地域活性化の為に、住民同士が連携し地域内外から多くの人と一緒に集まり、住民の連帯感が生まれる機会が必要であると考えた。
- 岡谷市の太鼓まつりの中で「MINAKOI わっさか」というよさこい系のイベントが行われており、踊りに対する文化が定着していた。
- 公益社団法人諏訪圏青年会議所では、これらの内容を総括し、「諏訪湖よさこい」実施に向け実行委員会を立ち上げ地域住民の方々と共に実施に向け準備した。

事業内容

- 準備段階では、月に一度の実行委員会及び週に一度各部会を開き準備してきた。
- 開催当日は、岡谷市湖畔公園の特設会場で諏訪湖を背景にステージを設け、このステージで42チームが演舞を披露した。
- 特設会場の中には、ロコモールと称し、地域の特色や魅力を発信するブースを設け、地域の食、文化、産業など様々な情報を発信した。
- 運営側と参加者がこの祭りを通じて連帯感を感じてもらえるよう、諏訪湖よさこい総踊りを制作した。



【特設ステージでの演舞の様子】

事業効果

- 地域内外から42チーム、遠くは和歌山県や愛知県など県内外から約800人の踊り手が参加し、また多くの方に観覧のため来場してもらった。地域発信ブースでも、30店舗の出店があり、岡谷の特色や魅力を含めた情報発信に、多くの方々に興味を持ってもらった。このように多くの方々に諏訪の自然や文化産業に触れていただくことができたと感じている。また、地域住民の方々にも、諏訪湖の風景を含め、改めて地元の良さを体感して頂く事ができたと考えている。
- 諏訪湖よさこい総踊りの制作過程では多くのメンバーが作詞、作曲、録音、振り付けで携わり、祭り当日に向けて期待感を持ってもらった。祭り当日、実行委員会メンバーも含め多くの踊り手と共に総踊りを行った。制作での体験も含め約400人が総踊りを体験したことで、総踊りを制作したことと、祭りの運営に携わったことでの達成感を感じてもらった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 踊り手、ブース出店者、実行委員会メンバーより、次回も期待するという声を多くもらった。また、地域住民からは、普段見慣れた風景が、絶景に変わったと言ってもらった方もいた。
- 今後の課題として、継続をどの様にしていくか、現在の実行委員会だけでは限界がある為、組織を大きくすることや、多くの団体、市町村、引き続き県の協力が必要となってくる。また、新たな取り組みとして、開催会場を広げ、諏訪圏全体で開催していくポテンシャルはある事業だと感じている。

【選定のポイント】

住民とともに新しい祭を作り上げていくことで地域の連帯感や協働が醸成されるとともに、観光誘客の促進が期待される。

団体名	公益社団法人諏訪圏青年会議所	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0266-54-6980	事業費	3,397,621円
	www.suwaken-jc.com	支援金額	2,179,000円